

大川陽一議会報告

発行所
大川よういち後援会
 〒373-0057 太田市本町47-15
 TEL 0276-22-2966
 FAX 0276-60-4047
<http://www.okawayoichi.net>
 E-mail : youiti@bb.mbn.or.jp

平成二十二年度 予算特別委員会

主な質問内容

もそのような事故があったと聞いております。その対応について？

●「高齢者を地域で支える体制づくり」
 年々増加する高齢者については核家族化が進展し、ひとり暮らしの高齢者や認知症の方の徘徊など、見守りや支援を必要とするケースが増加しているが？

①認知症の徘徊は行方不明になるケースもあるが、地域で生活するための具体的な取り組みについて

認知症サポーター養成講座では二千人以上のネットワークづくりを進めて行きます。

③ひとり暮らしの高齢者の孤独死についてはマスコミでも悲しい事故として多くの報道がされており、実際に事故の報告はありますか？

年に数回あります。

④昨年の暮れも、先日



区長さんや民生委員さん、地元関係者の皆さんに協力をお願いしています。

⑤今後も高齢者を地域で支えて言ってほしいと思います。

●太田市の防犯灯設置数と現行の防犯灯とLED灯のそれぞれの設置コストについて

市内に約一万八千灯を一齐に設置する

従来型：約2万円
 LED灯：約4万円

●電気料金について

(年間電気料金)
 蛍光灯二、六七〇円
 LED一、八七〇円
 (約25〜30%の削減)
 現行の防犯灯に比べ、LEDは何倍位の電球の寿命ですか？

約4倍(現行は約2年半、LEDは約10年)

●東本町周辺は集中豪雨の際に床上、床下浸水が発生するエリアであり、地域の皆様より要望があった場所です。その対策は？

東小南東本町2号公園に地下タンクを設置し、二〇鈔をカバーする。あくまで減災を目指します。

●大雨に対する今後の対応について

東小北の水路及び堰との調整を図っていきます。

●ものづくり人材育成施設整備資金の増額について

一億七千万円の増額は規模の変更でなく強固な建物にする為です。

(その他)

●太田駅北口駅前広場の今後について

●市営住宅の滞納等現状と対策について

●本市の学級崩壊の対応について

●モンスターパーアレントの対応について

●卸売市場の現状と今後について

●観光行政及び金山ハイキングコース整備について

●南一番街豪雨時道路冠水対策について



感激で〜す!
 天空ブリッジ?

御城橋 (松風峠に架かる橋)

親水公園から徒歩で15分位です。金山山頂までは御城橋から15分程度、合わせて30分の山登りです。



御城橋を訪れる市民やハイカーがコースを間違えないようにと市職員が心を込めて作成した臨時の「道しるべ」です。

編集・後記

本市の高齢人口比率は二〇一〇年の六十五歳以上が約十九%。二〇五〇年になると四〇%になると予測している。全国の比率も同じ位で、人口も約一億二千八百万人が約九千万人になってしまいうそうです。好むと好まざるとに関わらず高齢化社会の進展が進みます。元気なお年寄りや地域の皆さんによる協働こそ「地域力」の源泉です。これからは地域力とかがコミュニケーションが最も重要になって来ると思います。

学校は地域の拠点であり地域の支えが必要です。学級崩壊も不登校児童生徒の問題も学校と家庭が最も中心ですが、地域の課題としても考えて行かねばならないと考えます。学校にはたくさん課題があります。やはりここにも「地域力」を発揮しなければなりません。

四月から児童センターと各児童館が日曜休館になるようです。家庭で親子の触れ合う時間を増やして家庭教育を充実させるためらしい。本音は人件費を削減し、歳出を抑える為じゃないんですか？ひとり親でサービス業などに従事している方にとっては大変なことです。全館でなく「部分休館」も選択肢の一つです。

既存事業の見直し

- ①バス事業全般の見直し
- ②愛がん動物火葬炉の廃止
- ③藪塚国保診療所の民営化
- ④市民ゴルフ場を渡良瀬スポーツ広場に



予算案を可決

前年度比 + 0.7%増の729億3,000万円

個人市民税は、雇用情勢の悪化及び給与所得の減少等を考慮して、前年度比12.9%（14億円）の大幅な減収。法人市民税は、基幹産業である自動車関連企業にあっては、円高の進行や世界的な需要減などの影響により、前年度比37.9%（14億円）の減収。他の税収も勘案し、全体では6.9%（24億円）の減収を見込んでいます。

平成22年度は「我慢の年」になりそうです。昨年末には国の事業仕分けが話題になり、太田市においてもスクラップ&ビルドによる事業の見直しを積極的に進めてきました。民間にお願いできる事業は民間にという視点から、いくつかの事業を廃止・見直しを決断しました。また、組織のスリム化や職員給与の見直し、市役所窓口の日曜日閉庁等、今まで以上に行財政改革に取り組んでいきます。

市民ゴルフ場の閉鎖



お待たせ致しました！きれいな道路の完成です。
毎朝大型車の走行による振動が激しい、家具が揺れる。
など市民の声に応え、道路整備を実施しました。
(太田小北裏通り)

道路改良事業費 18,043,800円



火災模擬訓練 (合同庁舎にて) 3月7日

政務調査費の削減を提案・可決 議会全体で760万円削減になります

市民税や法人市民税の減収を受けて議員に関わる報酬の削減・委員会視察費の削減・政務調査費の削減・兼務報酬の削減等について、この1年間、市民の目線に立って議論を重ねてまいりました。

今年度予算でも示されているとおり、太田市が今までに経験したことの無い税収の落ち込みや既存事業の廃止・見直しについて、市議会としても重要性が高いと認識し、政務調査費の削減を可決するに至りました。これは、市議会の中で諦めずにムダをなくすことを訴え続けた活動の成果であり、引き続き市政のチェック機能と議会改革に厳しい目で取り組んで参ります。

*政務調査費とは、地方議会の議員が政策調査研究等の活動のために支給される費用で、太田市では、1円からの領収書添付が義務付けられています。(公開)

全国の自治体で進む議会改革の動き 「議会基本条例」

全国的に地方議会の存在意義を考え直し、地方議会と市民生活との距離をより近づけていこうとする取り組みが生まれております。

地方分権が進み、地方議会のメンバーである議員ひとり一人がその専門性や政策立案能力をさらに高めて、地域の立法府としての議会の役割を積極的に果たしていかなければなりません。市民に最も身近な政治の現場ともいえる市議会は広く市民の意見を反映できる場所。1人の市長ではなく、38人の議員が集めてくる多くの市民の意見を取りまとめながら、議会としての意思決定をすることの意味は大きいものです。二元代表制(市長も議員もそれぞれ直接選挙され議会も首長も住民を代表するシステムです。憲法93条)により、多様な民意の反映という点で議会は重要な役割を担っております。意思疎通をさらに活性化することで、市長・役所に対するチェック&バランスの機能は向上し、より市民に近い立場で市政を担うという市議会の役割がさらに高まると考えます。

大川よういち は、市民が参加する議会づくりを目指します。市民生活に根ざした課題から政策提案できる議会を目指し、チャレンジして行きます。議員活動のヒントは！ 市民の声！ 市民の知恵！ 市民の目線！ 市民と一緒に汗をかく！ (そもそも主権って誰？ ⇒ 住民である市民ですよ！ 市民が主役の議会に向けて！)



シーズンに向かって
体を鍛えて下さい

太田リーグ・駅伝大会
Aクラス優勝 リトル雄飛
太田市運動公園グラウンド 平成22年1月17日